

2025年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年4月11日

上場会社名 株式会社ティムコ 上場取引所 東
コード番号 7501 URL <https://www.tiemco.co.jp>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 酒井 誠一
問合せ先責任者（役職名） 取締役管理部長（氏名） 荻原 浩二 TEL 03-5600-0122
配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年11月期第1四半期の業績（2024年12月1日～2025年2月28日）

（1）経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年11月期第1四半期	768	3.9	△37	—	△33	—	△39	—
2024年11月期第1四半期	739	△6.9	△38	—	△37	—	△43	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年11月期第1四半期	△16.08	—
2024年11月期第1四半期	△17.74	—

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年11月期第1四半期	5,585	4,453	79.7	1,798.29
2024年11月期	5,536	4,526	81.8	1,827.68

（参考）自己資本 2025年11月期第1四半期 4,453百万円 2024年11月期 4,526百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年11月期	—	0.00	—	12.00	12.00
2025年11月期	—	—	—	—	—
2025年11月期(予想)	—	0.00	—	12.00	12.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年11月期の業績予想（2024年12月1日～2025年11月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,620	12.7	103	—	106	—	67	—	27.05

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年11月期1Q	3,339,995株	2024年11月期	3,339,995株
② 期末自己株式数	2025年11月期1Q	863,481株	2024年11月期	863,481株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年11月期1Q	2,476,514株	2024年11月期1Q	2,476,514株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等に関する記述は、当社が現在入手可能な情報に基づき作成したもので、実際の業績等は今後様々な要因によって大きく異なる場合があります。なお、業績見通し等に関する事項は、添付資料3ページ「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間(自2024年12月1日 至2025年2月28日)における日本経済は、雇用や所得環境の改善や訪日外国人の増加によるインバウンド需要の増加等により、緩やかな回復基調となりました。その一方で、物価上昇による個人消費への影響、ウクライナ情勢の長期化、不安定な為替の変動やエネルギーコストの高騰など、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社の関わるアウトドア関連産業のうち、釣用品市場においては流通在庫の調整局面の緩和傾向が見られたものの、寒気や大雪などの影響により、釣りシーズンの動きだしが鈍い状況となりました。また、アウトドア衣料品市場においては、寒気の影響により防寒衣料を中心に販売が好調に推移した一方、春夏物衣料の動き出しが遅れました。

このような状況の中、当社では収益確保に向けた商品の販売強化などの取り組みを行った結果、当第1四半期の売上高は7億68百万円(前年同期比3.9%増)となりました。その一方で、円安や売上の主体がセール中心の秋冬物衣料だったことなどが影響し、売上総利益率が低下いたしました。それらにより、営業損失は37百万円(前年同期間営業損失38百万円)、経常損失は33百万円(前年同期間 経常損失37百万円)、四半期純損失は39百万円(前年同期間四半期純損失43百万円)となりました。

セグメントの業績を示すと、次の通りであります。

(フィッシング事業)

フィッシング事業に関しては、販売先小売店における在庫調整局面が緩和に進む一方、気温低下や大雪によりシーズン開始が遅延しました。フライ用品ではフライライン(フライフィッシング用釣り糸)や消耗品などを中心に販売の回復が見られたものの、ルアー用品はシーズンの立ち上がりが遅く販売が苦戦しました。その結果、当第1四半期におけるフィッシング事業の売上高は1億67百万円(前年同期比2.6%減)となりました。また、円安や原価高騰による売上総利益率の低下の影響も加わり、セグメント損失(営業損失)は9百万円(前年同期間 セグメント損失3百万円)となりました。

(アウトドア事業)

アウトドア事業に関しては、寒気の影響により防寒衣料や防寒小物の販売が好調に推移しました。一方、昨年の記録的な暖冬により春物衣料が早期に立ち上がったのとは対照的に、今シーズンは2月下旬まで寒気が居座り、フィッシングギアや春夏物衣料の動き出しが遅れました。その結果、当第1四半期におけるアウトドア事業の売上高は5億95百万円(前年同期比5.8%増加)となりました。また、売上高増加に伴いセグメント利益(営業利益)は15百万円(前年同期比65.3%増)となりました。

(その他)

その他の主な内容は、不動産賃貸収入売上であります。当第1四半期に関しては賃貸面積の増加により、その他売上高は5百万円(前年同期比22.7%増)となりました。また、セグメント利益(営業利益)は4百万円(前年同期比28.4%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債、純資産の状況

(資産)

当第1四半期会計期間末の資産は、前事業年度末に比べ49百万円増加し55億85百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金の増加4百万円や季節的な影響などによる商品の増加2億15百万円、その他に含まれる未収消費税等の増加23百万円などの一方で、受取手形及び売掛金の減少1億62百万円や電子記録債権の減少18百万円などの影響により、前事業年度末に比べ64百万円増加し37億81百万円となりました。

固定資産は、有形及び無形固定資産の減価償却などによる減少9百万円や投資有価証券の減少3百万円などにより、前事業年度末より15百万円減少し18億4百万円となりました。

(負債)

当第1四半期会計期間末の負債は、前事業年度末に比べ1億22百万円増加し11億32百万円となりました。

流動負債は、支払手形及び買掛金の増加1億96百万円や賞与引当金の増加9百万円などの一方で、未払法人税等の減少10百万円や、その他に含まれる未払金の減少34百万円及び未払費用の減少23百万円、返金負債の減少7百万円、預り金の減少6百万円などにより、前事業年度末に比べ1億23百万円増加し8億91百万円となりました。

固定負債は、退職給付引当金の減少3百万円などの一方で、その他に含まれる資産除去債務の増加1百万円などにより、前事業年度末に比べ1百万円減少し2億40百万円となりました。

(純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末より72百万円減少し44億53百万円となりました。これは主に、四半期純損失39百万円の発生や前事業年度決算の配当支出29百万円、その他有価証券評価差額金の減少3百万円などによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2025年1月17日発表の「2024年11月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」に記載の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年11月30日)	当第1四半期会計期間 (2025年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,616,605	1,621,335
受取手形及び売掛金	533,825	371,337
電子記録債権	62,258	43,924
商品	1,407,053	1,622,783
その他	98,162	122,978
貸倒引当金	△1,073	△737
流動資産合計	3,716,831	3,781,621
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	427,189	418,362
土地	653,376	653,376
その他(純額)	8,434	10,660
有形固定資産合計	1,089,000	1,082,399
無形固定資産		
	45,000	41,695
投資その他の資産		
投資有価証券	593,734	590,488
その他	91,958	89,550
投資その他の資産合計	685,692	680,038
固定資産合計	1,819,693	1,804,133
資産合計	5,536,524	5,585,755
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	524,537	721,265
未払法人税等	18,882	8,464
賞与引当金	1,318	11,035
その他	222,807	150,677
流動負債合計	767,546	891,442
固定負債		
退職給付引当金	183,056	179,426
その他	59,641	61,383
固定負債合計	242,698	240,810
負債合計	1,010,244	1,132,252
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,079,998	1,079,998
資本剰余金	3,834,701	3,804,983
利益剰余金	95,905	56,091
自己株式	△478,060	△478,060
株主資本合計	4,532,546	4,463,014
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△6,265	△9,511
評価・換算差額等合計	△6,265	△9,511
純資産合計	4,526,280	4,453,502
負債純資産合計	5,536,524	5,585,755

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年2月29日)	当第1四半期累計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年2月28日)
売上高	739,005	768,144
売上原価	399,120	432,971
売上総利益	339,885	335,173
販売費及び一般管理費	378,809	372,349
営業損失(△)	△38,923	△37,176
営業外収益		
受取利息	922	1,640
為替差益	173	1,458
その他	132	138
営業外収益合計	1,228	3,237
営業外費用		
その他	58	16
営業外費用合計	58	16
経常損失(△)	△37,753	△33,955
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税引前四半期純損失(△)	△37,753	△33,955
法人税、住民税及び事業税	3,930	3,545
法人税等調整額	2,248	2,313
法人税等合計	6,178	5,859
四半期純損失(△)	△43,932	△39,814

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

I 前第1四半期累計期間(自 2023年12月1日 至 2024年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	合計 (注) 3
	フィッシング 事業	アウトドア 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	171,889	562,613	734,502	4,503	—	739,005
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	171,889	562,613	734,502	4,503	—	739,005
セグメント利益又は損失(△)	△3,036	9,504	6,468	3,340	△48,732	△38,923

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額 △48,732千円は、各セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に管理部門の一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

II 当第1四半期累計期間(自 2024年12月1日 至 2025年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	合計 (注) 3
	フィッシング 事業	アウトドア 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	167,463	595,156	762,620	5,523	—	768,144
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	167,463	595,156	762,620	5,523	—	768,144
セグメント利益又は損失(△)	△9,359	15,706	6,346	4,290	△47,813	△37,176

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△47,813千円は、各セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に管理部門の一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年2月29日)	当第1四半期累計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年2月28日)
減価償却費	16,724千円	16,231千円